

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



ソウル事務所

「朝鮮通信使国際シンポジウム」開催！ ユネスコ世界記憶遺産登録へ機運高まる！

2月26日、クレアソウルは、韓国全国市道知事協議会との共催で「朝鮮通信使国際シンポジウム」を開催しました。会場は約250人もの参加者で満席となり、熱気に包まれました。シンポジウムでは、日韓の双方の専門家が「朝鮮通信使は友好交流の象徴だ」と述べ、日韓両国のさらなる相互理解を深めるためには、国家間だけでなく、さまざまなレベルでの交流が重要との意見が出されました。

また、日本の専門家からは、「互いに争わず欺かない『誠信の交わり』を外交の基本とすべき」と説いた雨森芳洲（日本の儒学者で朝鮮通信使の対応責任者）の思想が紹介されたうえで、現代の外交でも、こうした精神がより深く理解されるべきとの意見が出されました。



北京事務所

広州国際旅遊展覧会（GITF2016）で 観光プロモーション

2月25日から27日にかけて、広州市にて広州国際旅遊展覧会（GITF2016）が開催され、クレア北京もブースを出展しました。同展覧会には、世界中の国と地域から956団体が出展し、会場は旅行者や一般客約2万9,000人の来場者で賑わいました。クレアとして4回目の出展となる今回は、山形県、群馬県、福井県、兵庫県、横浜市、大阪市と共同出展し、自治体の観光パンフレットの配布や、DVDの上映、特産品の展示などを通じて日本各地の観光プロモーションを行いました。訪日旅行人気を反映して、多くの来場者がクレアブースに立ち寄り、用意したパンフレットは最終日を待たずにほとんどなくなるほどでした。

広州市の日系旅行会社によると、華南地域では旅行情報収集の手段はオンラインよりもオフライン（紙媒体や旅行博等）を好む傾向にあるということで、今回の旅行博は観光PRの絶好の機会となりました。



JETプログラム事業部

JETプログラム意見交換会（CIR部会）を開催しました！

国際交流員（CIR）がどのように活躍しているかを知るとともに、JETプログラムや、JET参加者及び任用団体向けに行っているクレアの研修・支援の改善に役立てるため、意見交換会（CIR部会）を開催しました。日本各地から選考された12名のCIRが集まり、職場でのコミュニケーションや地域で行っている取り組み、他のJET参加者との繋がり、クレアの研修などについて活発な意見交換を行いました。普段、地方自治体で日本人と共に勤務しているCIRならではの悩みや工夫している点が話し合わせ、参加者にとっても自己啓発・業務改善とネットワーク作りの機会となったようです。参加者からは、参加して良かったという声が多く聞かれました。

この意見交換会は、外国語指導助手（ALT）部会とCIR部会を隔年で開催しており、来年度はALT部会を開催します。





パリ事務所

トゥールの日本イベント “Japan Tours Festival” 開催！

2月19日～21日、第2回「Japan Tours Festival」が、フランス中部トゥール市で開催されました。ポップカルチャーを中心とした日本文化紹介のイベントで、今年は昨年を上回る約16,000人が来場しました。パリ事務所はトゥール市役所と連携し、同市ブースに日本各地の観光パンフレットなどを設置。同市と姉妹都市である高松市から派遣の職員が、日本の地方の魅力をPRしました。



シドニー事務所

池田市・ローンセストン市姉妹都市 提携50周年事業開催！

2月11日、大阪府池田市と豪州ローンセストン市の姉妹都市提携50周年を祝う「イケダ・デー」が、ローンセストン市で開催されました。姉妹都市提携のきっかけとなる文通を始めたウェンディ氏の当時のやりとりなどが紹介されると会場は拍手に包まれました。今後も両市が良きパートナーであり続けることが期待されます。



ロンドン事務所

JETAA UK 年次総会を開催

3月5日・6日にかけて、JETプログラム（外国青年招致事業）の同窓会組織である「JETAA」の、英国内支部代表による年次総会が行われました。ロンドン、ミッドランズ、スコットランド/ノースイーストの各支部の役員が一堂に会し、今年度の活動報告や、JETプログラム30周年を迎える来年度の事業について意見交換などを行いました。



シンガポール事務所

専門家派遣事業

シンガポール事務所では、平成27年度に、タイ・シーサケートにて食品衛生分野（愛知県）、タイ・スコタイにて都市計画分野（名古屋市）、インドネシア・スラバヤにて環境保全分野（奈良県）、ブルネイにて消防分野（東京消防庁）の4件の専門家派遣事業を行いました。

ASEAN諸国の課題はさまざまですが、どの分野においても日本の自治体職員が持つ総合的な技術力を活かすことが出来ます！受け入れ側自治体の満足度も非常に高くアジアにおけるクリアや日本の自治体の存在感を高めるのに非常に効果のある事業となっています。



ニューヨーク事務所

北米最大規模の見本市「NY NOW」に奈良県・石川県が出展

1月30日から2月3日まで、2,500社以上が参加する北米最大規模の家庭用品、ギフト関連商品を展示した総合見本市「NY NOW」が開催されました。昨年度に引き続き、日本の自治体からは、奈良県と石川県が県内企業を束ねた共同ブースを設置しました。

奈良県は、和紙を使用したマスキングテープや消防車の消火ホースを再利用して作られたバッグなど、ユニークな商品を多数取り揃えていました。石川県は、モダンな柄の重箱など、同県の伝統工芸である漆器を中心に展示しました。今回出展された両県の企業の方々も、ニューヨークでの反応に大いに手応えを感じていたようです。



経済交流課

日本ふるさと名産食品展 in 香港を開催しました！

2月17日（水）～23日（火）まで香港 SOGO コーズウェイベイ店で日本ふるさと名産食品展を開催しました。14自治体から23社が出展し、日本の地域のおいしい名産品を販売しました。連日多くのお客様にお越しいただき、香港における日本食の関心の高さを伺うことができました。

2016年の食品展は、バンコクとロサンゼルスで開催予定です。募集は決まり次第、クリアHPに掲載します。皆様からのご応募お待ちしております。

